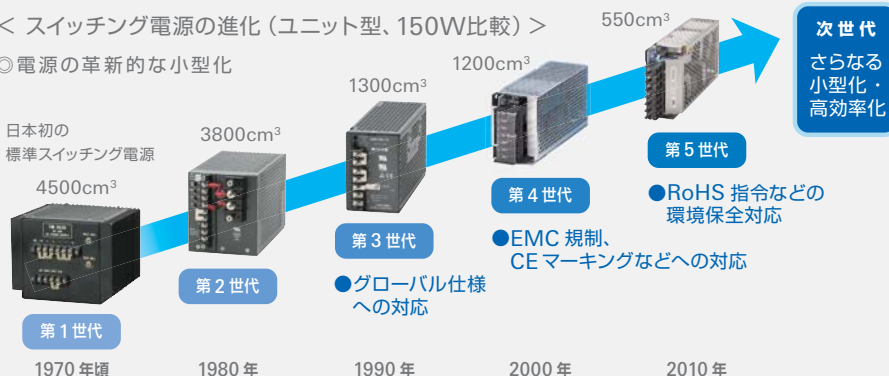


スイッチング電源発展の歴史

- 1960年頃 この当時、真空管を利用した安定化電源が主流
米国NASAが宇宙機器用にスイッチング電源の開発に着手
- 1965年頃 スwitchング電源向けの半導体素子が開発され始める
- 1970年頃 この頃、TDKおよび日本電子メモリ工業(ネミック・ラムダの前身)がスイッチング電源事業に着手
- 1972年 日本電子メモリ工業が日本初の標準スイッチング電源を製造・販売
TDKがスイッチング電源を製造・発売
- 1974年 業務用テレビゲームに採用され、スイッチング電源市場が拡大
- 1976年 TDKがスイッチング電源用トランスを製造・発売
- 1978年 日本電子メモリ工業の営業を譲受し、ネミック・ラムダ(デンセイ・ラムダの前身)を設立
- 1995年 TDKがHEV用DC-DCコンバータの生産開始
- 2000年 TDKがスイッチング電源RKWシリーズ、JBWシリーズを発売
- 2004年 デンセイ・ラムダ(TDKラムダの前身)がスイッチング電源HWSシリーズを発売
- 2005年 TDKグループにデンセイ・ラムダが加わる
リチウムイオン電池搭載UPS(完全鉛フリー)発売
- 2006年 TDK-Lambdaブランド製品の発売開始
13シリーズ・234機種 of 電源用EMCフィルタ
(全機種RoHS指令対応)を市場投入
- 2008年 TDKラムダ株式会社発足

< スwitchング電源の進化 (ユニット型、150W比較) >

◎電源の革新的な小型化



TDKパワーエレクトロニクス・ワールド

発行日 2009年3月31日／発行者 TDK株式会社 広報部
〒103-8272 東京都中央区日本橋1-13-1 Tel.03-5201-7102

